

特集

FAB LAB

思考から試行へ

とっきんとっきん

大学発スタートアップマガジン

vol.4 **2023**

TOKKIN TOKKIN

COVID-19 が世界的に蔓延し、早くも3年。

政治面、経済面、両面から見ても混乱の芽が表面化した2022年。

従来の経験、考えからでは予想だにできなかった事が頻出し途方に暮れる。

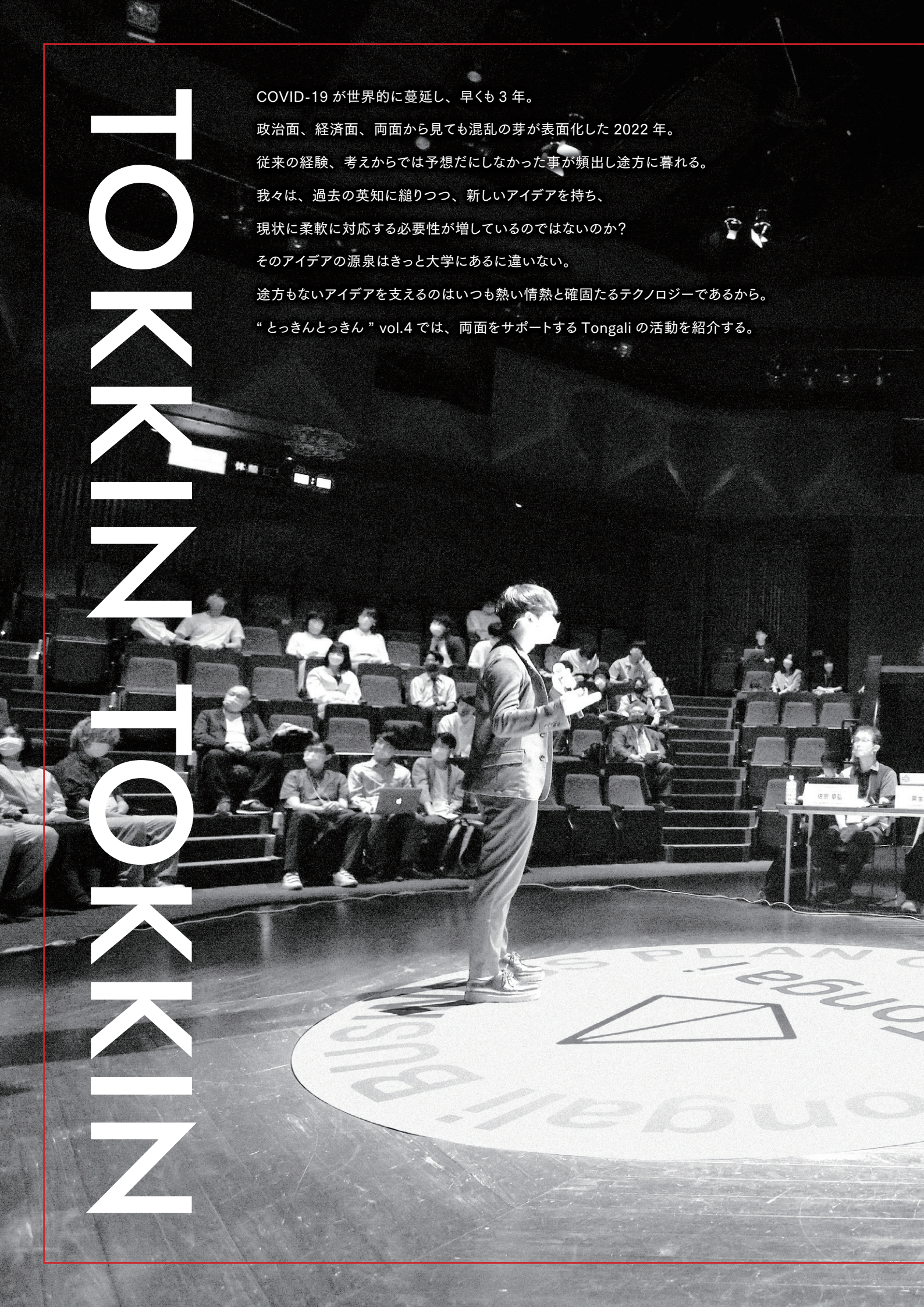
我々は、過去の英知に継りつつ、新しいアイデアを持ち、

現状に柔軟に対応する必要性が増しているのではないのか？

そのアイデアの源泉はきっと大学にあるに違いない。

途方もないアイデアを支えるのはいつも熱い情熱と確固たるテクノロジーであるから。

“とっきんとっきん” vol.4 では、両面をサポートする Tongali の活動を紹介する。



FAB LAB	04	愛知県立芸術大学・愛知県立大学	14
PROJECT	06	椋山女学園大学・南山大学	15
MEMBERS	08	光産業創成大学院大学・静岡大学	16
名古屋大学・豊橋技術科学大学	09	浜松医科大学・豊田工業大学	17
名古屋工業大学・岐阜大学	10	SUPPORTERS	18
三重大学・名城大学	11	SUPPORTERS INTERVIEW	20
中京大学・藤田医科大学	12	STARTUP INTERVIEWS	22
名古屋市立大学・岐阜薬科大学	13	KNOCK-KNOCK STARTUPS	26
		BACK ISSUES	31



VOL.4 2023

FAB LAB

IN UNIVERSITY

思考から試行へ

大学内 Fab Lab から、イノベーションが加速する

様々な Fab 機器を利用し、アイデアを実現させる場。そして、様々な人々との出会いの場。東海地区で活動するアントレプレナーシップ教育のプラットフォーム“Tongali”の参画大学がそのような場を随時オープンさせている。今回は3大学の Fab Lab について紹介する。



試作品制作のため学生が集う Fab 機器空間。



部屋は工学研究科 太幡研究室による設計デザイン。什器類も手作り。



ときにはコワーキングとして、ときにはイベント会場として利用可能。

01 / Idea Stoa

in 名古屋大学

“集い” “考え” “問いかけ” “磨き” “放つ” イノベーションのゆりかご

巨大スクリーンをはじめ、各種遠隔通信機器、レーザー加工機やガジェットプリンター・3Dプリンター等の Fab 機器を有する共創スタジオです。2022年10月オープン、駅から徒歩1分、名古屋大学 NIC 館1階玄関口という好立地に位置するこの場所では、学生や研究者を中心に、企業やVC等の金融機関、行政の方などが出入りし、セクターを越えた連携や新たなチャレンジが生まれています。

“Idea Stoa”の“Stoa”は、古代ギリシャに存在した列柱廊のこと。市民が集い、日々の話題を交換し、哲学や政治が論じられる場であったといわれます。その由来のとおり、“Idea”が集い、新たなテーマや議論、体験と出会うことができ、ときに、問いを見つめ、深め、発信できる場を目指しています。

新しいことを始めるには、ときに「本気で遊ぶ」ことも大切です。普段はコワーキングスペースとして機能しながら、学内や連携大学・拠点都市内のインキュベーション拠点等のプロジェクトと連携をとりつつ、オモシロオカシイ、新たなコミュニティ形成を図っています。必要な人・情報に出会える“イノベーションのゆりかご”へ、ぜひ一度お越しください！

住 所 : 名古屋大学 ナショナル・イノベーション・コンプレックス (NIC) 1階
利用時間: 平日 9:00 ~ 17:00
ウ ェ ブ : <https://ideastoa.aip.nagoya-u.ac.jp/>
Instagram: ideastoa_nic



ウェブ



Instagram

02 / M-STUDIO

in 名城大学

世界を驚かすアイデアをカタチに。
名城大学の創造空間。

「M-STUDIO」は、3Dプリンター、レーザー加工機、UVプリンター、デジタル刺繍機などのFab機器をはじめ、3Dスキャナー、ミシン、カッティングマシン、電子工作グッズなど「アイデアをカタチにする多彩な機器」を揃えた創造空間です。フレキシブルな空間づくりを大切にしており、利用者の活動に合わせて家具を移動し、自由にレイアウトを変形することが出来ます。

ものづくりだけの場ではなく、制作物の展示やプロジェクトに関するミーティング、98インチの大型モニターを利用した勉強会やオンラインミーティングなどの活動拠点でもあります。また、ライブラリーにある起業やものづくりに関連した書籍でアイデアを深めたり、新たな視点を得たり、たまたま出会った人とアイデアについて対話するなど、学生たちはい

ろいろな形で利用しています。

プロダクトをつくる人もいれば、ソフトウェアをつくる人、最新機材で動画をつくる人、ものづくりでは様々な人が関わります。また、アイデアを出す人、デザインをする人、フィードバックをする客観的な人も必要です。幅広い分野の多様な方々がこのM-STUDIOに集い、このスペースでものを創ることでクリエイティブな交流が生まれる場になることを目指します。

住所：名城大学 天白キャンパス タワー 75 5階
利用時間：平日 10:00～18:00

※長期休暇期間中等は利用時間が変更になる可能性があります。

ウェブ：<https://plat.meijo-u.ac.jp/m-studio/>



制作物の展示や、利用者の活動に合わせて家具を移動することも可能



【共創・対話エリア】プロジェクトに関するミーティングの開催や、オンライン配信も可能



【ライブラリー】起業やものづくりに関連した書籍を備えている

03 / P-Labo

in 光産業創成大学院大学

光技術による試作支援室 Photonics Laboratory

光産業創成大学院大学は“Photon（光子）”を用いた産業領域における新規産業創成を進めております。光技術を用いた「迅速な装置化」のプロセスは、スタートアップのスピード感を保ち続けるためには不可欠であります。装置化の一事例を示しながら、本学の光技術による試作支援室 P-Labo (Photonics Laboratory) の紹介を行います。例えば顕微鏡下に配置したサンプルの微弱なラマン発光を計測し、その定量マッピングできる装置（図1）を提供すると考えましょう。装置の構成としては、対物レンズ、サンプル台、鏡筒、2次元カメラ、ラマン計測用のビーム分岐光学系とラマン分光センサーへの光学結合系と、これらを駆動するソフトウェアが必要になるわけです。その装置の試作には、サンプルを固定する移動ステージとこのステー

ジに安定してカメラや検出器を接続される2分岐型鏡筒が必要となります。対物レンズとビーム分岐素子は購入するとして、これらの光学軌道設計を行って、カメラと高感度検出器を接続できる治具を図1に示すように設計します。残りの機構系を本学に導入したレーザー加工機（図2）と3次元加工機（図3）を用いて作製し、これを組み上げて試作機とします。このような試作開発のスピードアップの支援としてご活用ください。

住所：静岡県浜松市西区呉松町 1955 番 1
利用時間：平日 10:00～16:00

ウェブ：<https://www.gpi.ac.jp/>
※ご利用を希望される方は本学問合せフォームよりお問合せ下さい。

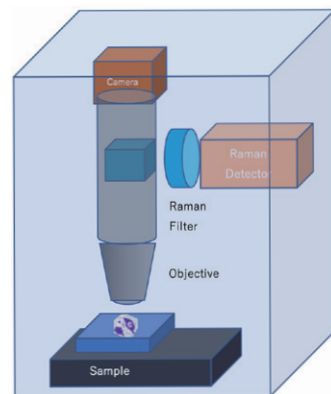


図1：ラマン顕微鏡試作装置の概要



図2：レーザー加工装置

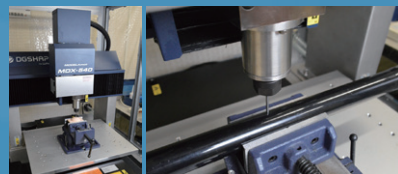


図3：3次元加工装置

参加費
無料

大学に入ったら
絶対に知っておきたい

Tongali

“自分と社会のつなぎ方”



東海地区の大学生・大学院生・中高生を優先!!

オンライン参加はどなたでもOK!

第6回Tongali シンポジウム

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム(START) 大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援
Tongali(主幹機関:名古屋大学) 共催:電通若者研究部

Tongali



PROJECT

アイデア×テクノロジーで

未来をつくる

東海地区の5大学が連携してはじまったアントレプレナーシップ教育。GAP ファンドをはじめとする大学発ベンチャーの起業支援の取組みも2年目を迎え、教育、起業支援の両面でVisionを追求している。今年も4大学が新たに参画し、18大学となったTongaliの活動から目が離せない。



Tongali

Tongaliの沿革

TONGALI'S HISTORY 2015-2022

2015 — 11月 東海地区5大学(名古屋大学・豊橋技術科学大学・名古屋工業大学・三重大学・岐阜大学)アントレプレナーシップ教育実施に向けて密談開始。

2016 — 名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャーファンド始動
3月 Tongali のコンセプトを発表。産声を上げる!
7月 第1回 Tongali シンポジウムを開催。まずは一歩。

2017 — 7月 文部科学省 EDGE-NEXT に採択。5大学がヨチヨチ歩き。
事後評価において最高評価 S を獲得

2018 — 7月 **協力機関No.01** 大阪大学

2019 — 6月 **連携機関No.06** 名城大学
8月 **協力機関No.02** 熊本大学
10月 **連携機関No.07** 中京大学

2020 — 世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成計画：グローバル拠点都市認定大学発新産業創出プログラム (START) 大学・エコシステム推進型拠点都市環境整備型 採択
事後評価にて最高評価 S を獲得

3月 **連携機関No.08** 藤田医科大学
4月 **連携機関No.09** 名古屋市立大学
10月 **連携機関No.10** 岐阜薬科大学

2021 — 大学発新産業創出プログラム (START)
- 大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援 - 採択

4月 **連携機関No.11** 愛知県立芸術大学
6月 **連携機関No.12** 椋山女学園大学
9月 **連携機関No.13** 愛知県立大学
11月 **連携機関No.14** 南山大学

2022 — 4月 **連携機関No.15** 浜松医科大学
5月 **連携機関No.16** 光産業創成大学院大学
連携機関No.17 静岡大学
6月 **連携機関No.18** 豊田工業大学

詳細は Tongali ウェブサイトをご覧ください。 <https://tongali.net/>



名古屋大学
豊橋技術科学大学
名古屋工業大学
岐阜大学
三重大学
名城大学
中京大学
藤田医科大学
名古屋市立大学
岐阜薬科大学
愛知県立芸術大学
愛知県立大学
椋山女学園大学
南山大学
光産業創成大学院大学
静岡大学
浜松医科大学
豊田工業大学

アントレプレナーシップ教育、起業支援の最前線。

Tongali に参画する東海地区の各大学では、それぞれに特色あるアントレプレナーシップ教育、起業支援が行われている。その現場で、いま何が始まっているのか。各大学の取り組み、その最前線を聞いた。

MEMBERS

名古屋大学

アイデア×テクノロジーで 未来にチャレンジする学校



名古屋大学は Tongali の主幹大学として年間を通じた起業家精神育成プログラムを実施している。年度の初めに、就職と進学以外に、起業という選択肢もあるということを知ってもらう Tongali シンポジウムを開催し、スクールⅠ、Ⅱ、Ⅲでは、起業について段階的かつ実践的に学べるプログラムを提供している。そして、ビジネスプランコンテスト(6月)とアイデアピッチコンテスト(11月)を実施し、多くの学生のチャレンジを応援している。コンテストでは、Tongali 賞だけでなく、多数のスポンサー企業賞も提供される。入賞チームは活動支援金のほか、さらにブラッシュアップしていく研修やサポートが受けられる。また、

今年度は、コロナ禍で延期していた海外研修もようやく実施できた。

上記のプログラム以外にも、英語で実施するプログラムや、女性や社会起業を支援するプログラム、中高校生を対象としたプログラムなども提供している。

プログラム以外にも、名古屋大学内の IdeaStoa が起業に関心のある学生たちが集まる場として、リニューアルオープンするなど、Tongali の活動は進化を続けている。



A. 海外研修 (パリの StationF を訪問) / B. Tongali スクールⅠ / C. Tongali ビジネスプランコンテスト 2022

豊橋技術科学大学

地域・産学連携型

アントレプレナーシップ教育



本学では昨年に引き続き、地域の自治体や企業と連携してアントレプレナーシップ教育を行っている。また本年より、自主学習やリモート教育での学習効果を高めるため、教育用ワークブックを製作し、受講生に無償配布し活用している。さらに新しい取り組みとして「高専生向けスタートアップ基礎講座」を本年より開催する計画で、大学入学前のより若い年代からのマインド醸成を行っていく予定である。

地域最大の目標であるスタートアップ・エコシステム構築には欠かせない「真に社会で必要となる人材」の育成を目指し、チームビルディング、本質思考、ビジネスアイデア、ビジネスモデルなど、より重要な部分に焦点を当て、より実践的な教育を行う。それに加え、PBL 型インターンシップの導入を目指し、地域企業と受入体制やプログラムに関する協議を進めている。

昨年末から、大学構内の他、豊橋駅前「emCAMPUS」内のサテライトオフィスの2拠点での支援体制を組み、より一層の支援体制強化、より効果的な教育・活動を目指している。



A. 豊橋市内中学校でのアントレプレナーシップ教育 / B. 「理科離れ」課題発見型インターンシップ (MUSASHi Innovation Lab CLUE で実施) / C. emCAMPUS 内拠点 / D. 教育用ワークブック

名古屋工業大学

「ものづくり精神」を備え持った 挑戦者の一歩を後押しする！

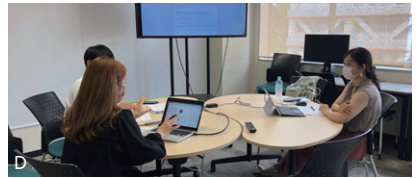
長きにわたり地域産業と向き合ってきた名古屋工業大学には「ものづくり精神」を受け継ぐプレーヤーが多く存在している。そうした人材の中から、未来を見据え、「心で工学」により社会変革を先導するアントレプレナー人材を輩出することを目的に、学部学生や専門性を持った大学院生、若手研究者などに対して、育成・支援プログラムを実施している。また、学生有志が立ち上げた起業同好会「NaSH」が主体的に様々なイベントを企画・運営し、学生と産業界が自由に交流できる「産学連携コワーキングスペース」で日夜活動している。

<活動の一例>

アントレプレナー育成塾：学内外の起業家を招きトークイベントを隔月で開催。（過去約20名以上が登壇）ざっくばらんな対談形式で、学生のみならずサポート企業や行政機関も参加している。

ブラッシュアップセミナー“SECOND UP”：新アイデアを創出しプレゼンができるレベルまでブラッシュアップする。他大学からの参加も多く、密なコミュニティを構築している。

A. 起業同好会NaSH / B. アントレプレナー育成塾 / C. ブラッシュアップセミナー発表会 / D. コワーキングスペースの活動風景



NAGOYA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

岐阜大学

野心よ集え

将来予測が困難な時代を迎える中、既存の枠を超え自ら行動を起こし新たな価値を生み出していくアントレプレナーシップを醸成していかなければならない。

岐阜大学では、こうした認識に基づき、2020年に、中部地方で初となる大学公認の「起業部」が発足、また新たに起業関連授業を開講するなど、活動を活発化させている。これまで岐阜は、決して起業の盛んな地域ではなかった。しかし、起業部がハブとなりイノベーションを創出する動きが現れ、その動きが徐々に他の学生や地域社会にも広がりがつつある。このムーブメントをさらに拡大し、新たな未来を切り拓く。

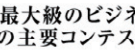
GIFU UNIVERSITY



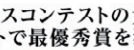
長崎我部 俊也さん
R19年
キャンパスベンチャーグランプリ全国大会 審査委員会特別賞
R20年
キャンパスベンチャーグランプリ全国大会 文部科学大臣賞
R21年
キャンパスベンチャーグランプリ中部大会 大賞(1位)
R22年
FiberCraze(株) 起業



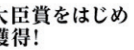
野村 奈々子さん
R19年
キャンパスベンチャーグランプリ全国大会 審査委員会特別賞
R20年
キャンパスベンチャーグランプリ中部大会 特別賞 中部経済産業局長賞
R21年
キャンパスベンチャーグランプリ中部大会 大賞(1位)
R22年
Tongali アイデアピッチ コンテスト 最優秀賞



杉江 萌花さん
R19年
キャンパスベンチャーグランプリ中部大会 大賞(1位)
R20年
東海学生AWARD 最優秀賞
R21年
Tongali アイデアピッチ コンテスト 最優秀賞



夏目 一輝さん
R19年
Tongali ビジネスプラン コンテスト 最優秀賞
R20年
ぎふビジネスアイデア・プレゼンテーション 最優秀賞グループ
R21年
Tongali アイデアピッチ コンテスト 最優秀賞



加藤 潤基さん
R19年
Tongali ビジネスプラン コンテスト 最優秀賞
R20年
Tongali アイデアピッチ コンテスト 最優秀賞

A. 活躍する起業人材！ / B. 中部地方初！大学公認の起業部！
C. 岐大アントレ公式VRアバター「東海ナントレプレナー」



インキュベーション施設に 学生用ワーキングスペースを設置！

三重大学では、2004年度から学内にインキュベーション施設を設置し、三重大学発ベンチャー企業を支援している。これまでの三重大学発ベンチャー企業の総数は27社で、その内、同施設に入居したのは17社である。全ての企業がこの施設を利用してはいないが、同施設は本社としての登記が可能で、さらに事業推進に関係する様々な支援が受けられる。最長6年間入居でき利用料も低価格で、創生期にあるベンチャー企業の自立を温かく見守る施設である。現在は3社が入居している。また、同施設内に三重大学と津市が連携し、大学発ベンチャーの継続的な支援と地域産業の発展を目的にワーキングスペース（津市—三重大学連携・企業成長支援室）も設置し、地元自治体との連携にも取り組んでいる。

2021年11月からは同施設内に起業に向けて活動する学生が利用できるワーキングスペースも設置した。現在、約15名の学生が毎日利用し、起業に向けた作業、ディスカッション、オンライン会議等を行っている。とくに学生団体Fortuneの活動は学内外からも注目されている。これらの学生には三重大学の産学官連携・知的財産部門の教員がメンターとなり支援している。

A. インキュベーション施設内での学生のディスカッションの様子 / B. コワーキングスペースでの学生のディスカッションの様子 / C. インキュベーション施設内での学生のディスカッションの様子



ありたい未来を自分で創る will、 それを叶える手段・仲間との出会い

名城大学

社会潮流に対応したアントレプレナーシップを持った次世代人材の育成を目標に、企業や自治体と連携し、リーダーシップ開発、アントレプレナー人材育成プログラム、社会連携プログラムなどを正課内外で実施している。2022年3月に開設した、起業活動拠点ものづくりスペース「M-STUDIO」では、クリエイティブな活動ができる知識習得を目的とした「AI・IoT人材育成プログラム」、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の担い手となる学生起業家を育む連続セミナー「DONUTS

（ドーナツ）」、新たなチャレンジをする大学生の動機形成を目的に実践者から学ぶトークイベント「START」など新たなプログラムが多数始動した。この拠点で、幅広い分野の人々が集い、アイデアをカタチにすることでクリエイティブな交流や活動が生まれることを目指す。名城大学では、「M-STUDIO」（天白キャンパス）と社会連携ゾーン「shake」（ドーム前キャンパス）を拠点に、仲間との出会い、メンターや専門家との出会いを支援する。



A. 実践者から学ぶトークイベント「START」第1回集合写真 / B. AI・IoT人材育成プログラム / C. アントレプレナー人材育成プログラム / D. 起業活動拠点ものづくりスペース「M-STUDIO」 / E. 社会をフィールドにした実践型プログラム「IMPACT」

中京大学

CHUKYO UNIVERSITY

EPoCh、 2年目に突入しました！



CHUKYO UNIVERSITY

中京大学では、2021年度から開始した「中京大学アントレプログラム EPoCh (エポック: Entrepreneur Program of Chukyo University)」を継続して実施している。2022年度は、初となるワークショップを3日間実施した。8学部から参加した学生にとってはかなりハードな内容であったが、終了後には前向きな感想が寄せられ、学生の意識の向上を感じ取れた。そして10月には卒業生による講演会を行った。本学の取り組みでは、いきなり「起業を目指しましょう」というのではなく、学生がキャリアを考えるにあたっては、さまざまな選択肢があること、アントレプレナーシップは起業以外のどんな場でも必要なマインドであることを実感してもらうことを

目標としている。

プログラムの実施にあたり、本学では起業することのみを推奨するのではなく、広い意味での起業家精神を育むことを目的としている。そしてアントレプレナーシップを「起業に必要な精神」という定義にとどめず、様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神と捉え、参加者にアントレプレナーシップ醸成の大切さを伝えている。

A. プレゼンでは講師から厳しい意見も(ワークショップ) / B. 学部も学年も違うメンバーがアイデアを持ち寄り、一つの企画を作り上げる(ワークショップ) / C. やはり先輩の話は身近に感じる(講演会)



藤田医科大学

FUJITA HEALTH UNIVERSITY

最先端医療と独創的な取り組みで 社会課題に挑む

本学では、産官学連携推進センターとイノベーション推進部門が中心となり、最先端医療技術の社会実装に向けて、研究成果や技術・ノウハウを応用するプロジェクトを支援し、創薬・診断薬の開発やAIなど活用した様々な共同研究を推進している。

大学発スタートアップ事業支援では、(株)フジタ・イノベーション・キャピタルとファンドが中心的な役割を担い、最先端医療の事業化を後押ししている。

起業家教育では、大学院「アントレプレナーシップ概論」、医療科学部で必修科目「キャリア形成論」を開講。学外から医療系ベンチャー起業家などを多数招き、スタートアップの最前線を学ぶ機会を通じて、幅広い視野と主体的に取り組むマインドの涵養を目指している。

愛知県警と連携した社会課題解決プロジェクト「若者のSNS性被害対策」をテーマに大学の講義でワークショップを開催。学生達

から出たアイデアをもとにAIを活用したアプリ技術の開発で社会実装に向けた産官学・地域連携活動を進めている。大学発ベンチャーの進化した「大学の講義発ベンチャー」として社会課題に挑む。

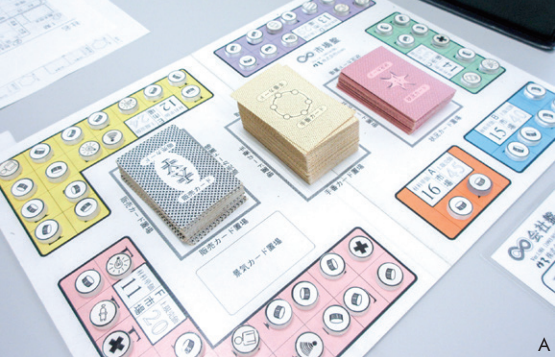
A. 病院内で実証実験を実施した配送ロボット / B. 出典:メ〜テレ アップ! 8月11日放送 / C. 藤田医大の講義ワークショップでのメディア取材 / D. 藤田医大の学生15名が高校の授業に向いて地域連携型のワークショップを開催



藤田医科大学
FUJITA HEALTH UNIVERSITY

FUJITA HEALTH UNIVERSITY





名古屋市立大学

NAGOYA CITY UNIVERSITY

やる者が、やる時に！ 名市大は挑戦する人を応援します！



名市大では「アントレプレナー（起業家）」＝「新しい価値を創出し実践する人」の輩出に向け、学生の「起業意欲・態度」を形成し、「起業活動」を促す2種類の機会を設けている。

「起業意欲・態度」を形成する教育では、起業家や起業支援者を招いたセミナーを開催し、学生と教職員のマインドセットの転換を促している。

「起業活動」を促す教育では、体験重視の機会を提供している。具体的には、短時間で会社経営をシミュレーションできる「トータルゲーム」を用いた経営の基礎を学ぶワークショップや、学生発のアイデアを事業プランに昇華するべく、指南役として外部から起業家を招きアイデア創発や検証など起業のプ

ロセスを学ぶプログラムを実施している。

2022年2月に開催されたキャンパスベンチャーグランプリ(CVG)全国大会において本学の学生が提案したビジネスプランが表彰されており、本教育活動の効果が表れている。

今後も引き続き、本活動を通じてやる気にスイッチの入った学生に対し、教職員がメンターとなり想いの実現に向けてサポートしていく。

A. トータルゲーム / B. トータルゲーム実施風景 / C-E. アイデアブラッシュアップセミナー「NCU Action Doors for Students」プログラム実施風景



岐阜薬科大学

GIFU PHARMACEUTICAL UNIVERSITY



岐阜薬科大学

社会課題を解決できる薬剤師 を社会に送り出せる大学へ！

岐阜薬科大学は「教育」「研究」「社会貢献」を大学の3つの柱として、長きにわたり創薬に関わる研究と医療に貢献できる高度な人材を輩出することで地域に貢献している大学である。

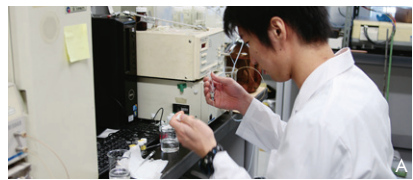
本学は、薬剤師免許を取得することのみを目的とせず、その先にある社会課題の解決に薬剤師の視点で取り組める Pharmacist-Scientists の育成、岐阜薬科大学、岐阜大学が所在する岐阜市黒野地域におけるライフサイエンス拠点の形成に取り組んでいる。

そのような中、すでに岐阜市と共に進めてきたアントレプレナーシップ教育に加え、

Tongali からも同教育に対する支援を頂けることとなったのは僥倖である。

現在、創薬を中心としたアントレプレナーシップ教育プログラムを編成し、創薬ベンチャーの社長らを招いた講演会等を通じ、起業家が持つ経営者としての視点、熱い想いをもって困難を解決していく力を学ぶ機会を学生に与え、同時に、教員自身も大いに刺激を受けているところである。また東海地域全体におけるアントレプレナーシップの醸成にも貢献すべく、同教育プログラムを Tongali 関連大学等にも広く公開している。

A. 研究開発マインドを持った若い人材の育成 / B-C. 社会課題への挑戦（ドローンによる医薬品供給実証実験） / D. 講演に聞き入る学生たち（アントレプレナーシップ講演会にて） / E. 薬局での実習



NAGOYA CITY UNIVERSITY

GIFU PHARMACEUTICAL UNIVERSITY

愛知県立芸術大学

芸術家と起業家の 共通点に注目した “Aichi Art Innovation”

AICHI
UNIVERSITY
OF THE ARTS

芸術大学の可能性開拓

社会では、芸術家やデザイナーとの共同ニーズが増える一方、その方法論は未充足で互いのジレンマとなっている。多くの芸術系大学では、芸術家育成を第一義としそれ以外の可能性についてこれまで積極的ではなかった。愛知県立芸術大学は、従来の芸術家育成に加え、社会と共にアートイノベーションの可能性を生み出す方法論を開拓する。

愛知県公立大学法人の2大学による利

愛知県立芸術大学は芸術に特化していること、愛知県立大学は他大学との差別化を課題としている。だからこそ、この2校が連携することにより、国内の「学」の中でもユ

ニークな存在になりえるのではないか。両大学が共同で取り組む Aichi Art Innovation は、創造性の教育が起業家と芸術家の両方の育成を実証しようとする。

アントレプレナーシップ教育への独自の取り組み

芸術教育に含まれている「深い自己理解に基づく強い自己実現欲求」は、最先端の起業家教育と一致する。アントレプレナーシップ教育の名門校であるバブソン大学の山川恭弘准教授をR4年より客員教授として迎え、愛知県立芸術大学と愛知県立大学の学生を対象とした実験的な授業を開始した。



A



B

A. 愛知県立芸術大学と愛知県立大学で共同開催した「アントレウィーク 2022」/ B. 山川恭弘客員教授による授業風景


愛知県立芸術大学

愛知県立大学

文理融合、多様性を目指した 起業家教育

AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY



AAI 起業部

愛知県立大学 ICT テクノポリス研究所では、学生団体「AAI 起業部」を組織し、愛知県立芸術大学とともに様々な活動を展開している。現在、100名以上の学生が登録しており、起業家教育への関心の高さが伺える。こ

の AAI 起業部の特徴として、外国語学部など文理学部の学生や芸術を学ぶ学生も多数所属していることが挙げられる。必ずしも理系男子にとどまらない多様な学生たちが集まり、様々な出会い、新しい試みが生まれている。

将来像

AAI 起業部の学生の中には、本当に起業を目指す学生がわずかにいるが、ほとんどは企業への就職を目標とする学生である。しかし近年、産業界では様々な分野で変革が求められており、新規事業の構築を考える機会も増えているため、学生への起業家教育はこれまでにないニーズが高まっているものと感じている。その際、たとえば情報科学を学ぶ学生が経営について考え、外国語を学ぶ学生が最新デジタル技術を使ったビジネスを考えることは、それぞれの専門性の価値をさらに高めることにつながる。今後も学生の多様性を活かしつつ、学生それぞれの価値を高める起業家教育の展開を目指していく。



A



B

A. 起業家教育プログラムの様子 / B. AAI 起業部員の募集



椋山女学園大学

社会課題解決型 ビジネスコンテストを核として 女性起業家を育成

SUGIYAMA
JOGAKUEN
UNIVERSITY

SUGIYAMA JOGAKUEN UNIVERSITY

本学では、2021年度より Tongali に参画し、高校生・大学生対象のビジネスプラン・コンテストを核としたアントレプレナーシップ人材育成プログラムの活動を行っている。


コンテストでは、社会課題解決型のビジネスプランを作成、報告を経験する機会をつくり、特に、女性起業家の育成に力を入れている。前提となる社会課題の設定や解決策の検証などは、教員や専門家による講演・メンタリングの機会を複数回設定し、学びの範囲を超えて学部横断型のチームアップも可能となっていることが大きな特徴である。

コンテストへの応募を契機に新たな視点、視野、視座で社会を捉え、それらに挑戦する

機運を高めるとともに、女性ならではのしなやかな問題解決力を向上させ、自立した女性が社会で活躍する可能性を拡げていくことを目指している。また、東海北陸地域5県の高校生も当コンテストに多く応募しており、今後も東海地域の起業家のすそ野を広げることにも貢献していく。

A. ビジネスプラン・コンテストのプレゼンテーション / B. 「Women Business Entrepreneurs」において起業家による特別講義 / C. 本大会アドバイザーとのメンタリング



 椋山女学園大学

南山大学

グローバルに活躍する 挑戦者を育てる

NANZAN
UNIVERSITY

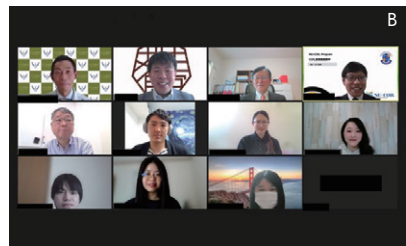
NANZAN UNIVERSITY

南山大学は、「人間の尊厳のために」を教育モットーとして、より良い社会の実現に貢献できる人材育成を目指している。アントレプレナーシップは、自らが一歩を踏み出して社会を変えていく力の大切な源であると考えており、2021年から Tongali プロジェクトに参画し、所属学部を問わず、アントレプレナーシップ教育の機会を提供している。

プログラムの中心は、スタートアップや起業にかかわるゲストスピーカーを招いた講演会や、アイデア出しから実現に至るプロセスを学ぶワークショップなどである。一方、南山大学がこれまで培ってきた豊かな国際性を活かして、将来的には、海外協定校とのネット

ワークを活用した国際的セッションや日本語を集中的に学ぶ受入れ留学生と日本人学生との共同講座など、よりグローバルなテーマやチーム編成でアントレプレナーシップを学ぶことができる環境を整える予定である。多くの学生が参加できるように、言語を多様化しながらプログラムを拡大させていく。

NANZAN
UNIVERSITY



A. 2021年度に実施した1回目講演会のフライヤー / B. 2021年度に実施した2回目の講演会の様子

光産業創成大学院大学

「アントレプレナーシップを学ぶ きみたちへ 2022」 セミナーを企画中。

THE GRADUATE SCHOOL
FOR THE CREATION OF NEW
PHOTONICS INDUSTRIES
 光産業創成大学院大学

光産業創成大学院大学は、「起業実践を
教学の柱とする」ことを特徴とする博士課程
のみの大学院大学である。学生は社会人ば
かりで、会社の経営者も複数在籍している。

Tongali アントレプレナーシップ教育に関わ
るにあたって、本学の特徴を出すことを目的

として検討している。実際に経営に携わる立
場から、起業にあたって技術の重要性に言及
する立場から、それぞれの内容を含んだ「ア
ントレプレナーシップを学ぶきみたちへ 2022」
と題したセミナーを 2022 年度後半に開催する。



静岡大学

静大発ベンチャー拡大中。 さらに続け！次世代人材

SHIZUOKA UNIVERSITY

 国立大学法人
静岡大学

昨年度まで実施していた EDGE-NEXT(東
大コンソ)事業から本学が継続し開催している
「起業・ビジネス人材育成ゼミ」は 5 年目
を迎える。現在ある静大発ベンチャー 41 社
の中にはここから生まれたベンチャーもある。

静大プログラムをサポートするアイザワ証券
の社会人も参加しているのが特徴で、文系
理系も入り混じった多様なチームが毎年出来
上がっている。6月に始まるゼミの出発は、1
泊 2 日の合宿講座。ここでチームビルディ
ングをして、個々のアイデアをすり合わせて、テ
マを決める。その後はメンタリングとブラッシュ

アップを何度も重ね、4 か月後にはビジネス
プランコンテストにチャレンジしていくので
ある。これまでは、2 年続けて参加する学生
や、1 度挫折の後に翌年以降再チャレンジす
る学生もいた。ゼミを通じて、学生の起業意
識が変わっていくことを実感している。

今後は、日本一起業家応援都市で
ある浜松市や県内の他大学とも連携し、
FUSE(フューズ)や ICLa(イクラ)といった
コワーキング施設を拠点としながら、大きな
ネットワークを構築していきたい。



E

A. 「起業・ビジネス人材育成ゼミ」合宿講座 / B. メンタリング
とグループミーティング / C. 「しずおかビジネスコンテスト」に
挑戦! / D. Co-startup Space & Community FUSE との連携 /
E. 「グローバル人材・アントレプレナーセミナー」開催

浜松医科大学

浜松から世界に羽ばたく 新しい価値の創造を ～ゼロからの挑戦～

浜松医科大学では、福祉と健康に貢献できる多様な医療系人材の育成・輩出を推進するため、ゼロからの挑戦が始まっている。2022年4月にはアントレプレナーシップ教育とデータサイエンス教育を推進する「次世代創造医工情報教育センター」が設置された。国家試験合格のためだけの学生生活ではなく、解が一つではない様々な社会課題に対して解決策を考え、新たなコト・モノを創造できる学生を育成する。医療分野には膨大なデータが蓄積されており、そこから新しい発想、医療DXを生み出すため、データサイエンスに関する教育環境も整えている。

「アントレプレナーシップ教育（写真A）」では、ものづくり起業家や医師・医療ITペ

ンチャー企業CSOを招き、アイデア抽出、問題分析の方法などを取り入れたアントレプレナーシップの授業を開始。「学生の起業支援（写真B）」では、起業を目指す学生グループへの研究指導、相談会を実施。「浜医やらまいかピッチ（写真C）」では、学生を対象に、医療・看護・ヘルスケア分野における起業家精神と資質・能力を育む機会を提供。

A. アントレプレナーシップ（医学部1年生）の授業風景 / B. 起業を目指す学生グループの活動の様子 / C. 「浜医やらまいかピッチ」開催の様子



HAMAMATSU UNIVERSITY
SCHOOL OF MEDICINE

浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

豊田工業大学

時流に先んじて 工学で社会変革を起こす イノベーション人材の育成

本学は、トヨタ自動車の社会貢献事業の一環として開学した大学であり、豊田佐吉翁の遺訓「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」を建学の理念として掲げている。開学以来、先端的な工学研究を通じた新たな価値創造と社会への還元や、現代社会の課題に率先して挑む実践的な技術者・研究者の育成に取り組んできた。学内カリキュラムでは、一般教養科目他、機械システム・電子情報・物質工学に関する工学基礎科目の分野横断型履修を特徴とし、専門分野と境界領域も理解できる広い工学的視野の獲得、ならびにモノづくり実習や実験による技能の習得など、総合的な学修を通して社会課題の解決力に富んだ人材育成に努めている。また、

全ての学生に対して、イノベーションコンテストや企業でのインターンシップ、起業家等の講演会など、工学的アプローチによる実学的な教育も実践している。2022年度をアントレプレナーシップ教育推進元年として、新たにTongaliプラットフォームを活用し、工学知識をベースにして社会変革を起こすイノベーション人材の育成強化を進めてゆく。

A. 豊田佐吉翁が発明した豊田式木製人力織機の復元機
B. 英語科学技術プレゼンテーションコンテストの様子 (iPlaza) / C. 学生のモノづくり演習の風景 / D. Ene-1GP 出場用の電気自動車作製風景 / E. 学外活動（鳥人間、Ene-1GP）の活動展示（志広場）



学校法人 トヨタ学園
豊田工業大学



TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE

SUPPORTERS

Tongaliを支える
サポーターのご紹介



大学発ベンチャー応援事業へ寄附のお願い

Tongaliでは、東海地域におけるスタートアップ・エコシステムの基盤形成の一つとして、学生に対するアントレプレナーシップ教育、起業家育成、研究・教育成果の事業化を目指す大学発ベンチャーの起業支援を行っております。これらの活動は、“Tongali” Tokai Network for Global Leading Innovationとして、大学を飛び出し、行政や企業と連携しながら、社会に対するイノベーションの創発、地域活性、グローバル展開などに貢献しております。今後も、東海地域におけるオープンイノベーションの促進、およびスタートアップ・エコシステムの形成に向けて、アントレプレナーシップ教育、大学発ベンチャーの起業支援を推進してまいります。ぜひ、ご賛同をいただき、寄附金としてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

サポーター特典

	ダイヤモンド 1000万円～	プラチナ 200万円～	ゴールド 100万円	シルバー 50万円	ブロンズ 10万円	エンジェル 1万円
Tongaliオリジナルグッズ・情報誌の贈呈	●	●	●	●	●	●
公式WEBでのロゴ掲載					●	
アイデアピッチコンテストへの賞提供				●		
ビジネスプランコンテストへの賞提供						
情報誌・公式WEBへの特集記事の掲載			●			
テーマ持ち込み型ワークショップ実施		●				
成果発表会の個別開催	●					



ご寄附の
詳細は
こちらから

Tongali SUPPORTERS

2022年12月現在

坂 清子 様

Diamond
ダイヤモンド

Platinum
プラチナ

Gold
ゴールド

Silver
シルバー

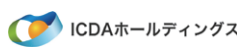
Bronze
ブロンズ



Nippon Venture Capital Co., Ltd.
日本ベンチャーキャピタル株式会社



日比野 三吉彦 様



過去のサポーター企業・団体（敬称略・五十音順）：安達悟志様（アットストリームコンサルティング株式会社 代表取締役社長） 株式会社 ABEJA 岡谷鋼機株式会社 株式会社カーネルコンセプト JFE エンジニアリング株式会社 株式会社十六銀行（NOBUNAGA21） 株式会社 大広 中京テレビ放送株式会社 株式会社テクノプロ テクノプロ・R&D 社 一般財団法人東海東京財団 東朋テクノロジー株式会社 西川コミュニケーションズ株式会社 ネットワンシステムズ株式会社 松井常芳様（株式会社スタメン 常勤監査役） 株式会社マルエム商会 山内英一様

※ KPMG 商標は KPMG International Cooperative の独占的財産です。

SUPPORTERS INTER

01

TRANCOM Co., Ltd.

—先日は、Tongali 初となる高校生向けイベント「Tongali-Junior コンペティション※」にご協力いただきありがとうございました。

武部：こちらこそありがとうございました。私たちにとってもこのような試みは初めてだったのですが、とても楽しく、学びが多い体験となりました。斬新なアイデアがたくさん出てきてすごく刺激を受けましたし、高校生のみならずの熱量に感動しました。

昨年は、サポーター企業として Tongali ビジネスプランコンテストやアイデアピッチコンテストにも参加させていただきました。参加したメンバーからは「どのアイデアも興味深く、時間が経つのが早かった」「また参加したい」とポジティブな感想が届いています。

※トランコム全面協力のもと、「コロナ禍で EC 市場の急成長に伴い、大きく変化している物流（陸運）」をテーマに、「社会課題の発見と解決方法の着想」「仮説検証とビジネスプレゼンテーション」「Tongali-Junior コンペティション」を3日間にわたって実施。武部社長はプレゼンター・審査員として参加。

Tongaliを通じた交流が社内に ポジティブな影響を与えています。

トランコム株式会社 代表取締役 社長執行役員 武部篤紀 氏

— Tongali にご支援いただいたきっかけは。

武部：地元教育機関への支援を考えていたところ名古屋大学特定基金大学発ベンチャー応援事業を知り、寄附を申し出ました。金銭的支援だけではなく、学生やスタートアップと関わりながら一緒に地域を盛り上げるという姿勢に魅力を感じたのが寄附を決めた理由です。

幸いにも、弊社にはプロフェッショナルと呼べる人材がたくさんいます。一方で、プライドを持って働いているからこそ、「こうあるべきだ」と視野が狭まってしまうこともあると思うんです。Tongali での、年齢や立場を越えた出会いを通じて、新しい視点や柔軟な考えを知るきっかけになってくれたらうれしいと思っています。

—今後、Tongali に期待することは。

武部：コロナ禍も落ち着きましたので、リア

ルな交流が増えることを期待しています。また、Tongali-Junior コンペティションのような、学生が社会の実態を知る・考える機会にも携わり続けられたらうれしいですね。物流業に興味を持ってほしいという気持ちもありますが、たとえそうでなくても、社会に目を向ける機会は将来の選択に必ず役に立つものだと思いますので、微力ながら、学生が将来を考える際のヒントやきっかけづくりに尽力できたらと思っています。前は高校生が対象でしたが、現役大学生との交流の機会も楽しみにしたいです。

また、弊社が築いてきたノウハウや考えが役立つシーンがあれば、ぜひ活用してほしいです。例えば、マネタイズに悩むスタートアップは少なくないと思いますが、地元企業の先輩として我々が応援できる部分があるかもしれません。どんな関わり方も大歓迎ですので、遠慮なく声をかけていただけたらと思います。

トランコム株式会社
代表取締役 社長執行役員

武部 篤紀 氏

1974年、愛知県生まれ。97年に慶應義塾大学理工学部を卒業後、トランコムに入社。ロジスティクス部門、経営企画部門を経て、2015年に海外担当執行役員として中国に赴任。17年に日本に戻り日本国内と海外でのオートモーティブロジスティクスの事業化を牽引。22年より社長就任、現在に至る。

TRANCOM Co., Ltd.

ATSUNORI
TAKEBE

VIEW

Tongali サポーターに聞く、 これからへの期待と起業家へのヒント。

スタートアップのネットワークが近くて強い東海エリア。 メリットを活用しビジネスにつなげて。

02

株式会社名古屋銀行 法人営業部 法人コンサルティンググループ 企画役 林敬祐 氏

The Bank of Nagoya, Ltd.

—名古屋銀行は Tongali 以前より名古屋大学との産学連携に取り組んでおられるとか。

林：名古屋銀行と名古屋大学は 2010 年頃より産学連携の協定を結んでおりまして、弊行の顧客と名古屋大学の研究室・共同研究との取り次ぎなどを手掛けてきました。

—サポーターとして関わるようになったきっかけは。

林：2020 年に、内閣府より愛知・名古屋・浜松地域がスタートアップ・エコシステム「グローバル拠点都市」に選定されました。そうした背景から、名古屋大学内にスタートアップを支援する組織をつくる構想があるとの相談を受け、意見交換の場に参加させていただくことに。その後、「スタートアップ推進室」が立ち上がりと同時に名古屋大学へ出向者を派遣、Tongali サポーターとして参画することとなり、現在に至っています。

—参画の理由はなんでしょうか。

林：銀行の立場としてはやはり、将来性のあ

るスタートアップに早い段階から接点を持てるという点は魅力です。個人的には、これから社会に挑戦しようとする人たちと深くディスカッションができることが非常におもしろいですし、これまでに築いてきた人脈や、事業アイデアを共有できる点も成果だと感じています。彼ら彼女らが、実際に起業しよう、規模を拡大しようとなったときに「名古屋銀行に相談してみよう」としてもらえたら、非常にありがたいです（笑）

—この地域のスタートアップに期待することは。

林：東京と比較して「愛知のスタートアップ界隈はこじんまりしているよね」と評されることが多いのですが、裏を返せば、狭いからこそすぐにキーパーソンに会うことができる。その点はとても大きなメリットです。横のつながりが強く、いい意味でおせっかいな方が多いので、本気で起業を目指す人にとっては支援を受けやすい環境だと思います。金銭面だけでなく、例えば、ビジネスプランはあるけれど

人材が足りない、アイデアを実現するための協業先を探している、といった場合にもすぐ頼りになるはず。愛知ならではのネットワークを活用して、おもしろいスタートアップがどんどん出てきてほしいと願っています。サポートの一環として、名古屋銀行では「金融よろず相談窓口 in なごのキャンパス」を定期的に開催。若き経営者の不安解消の一助になればと思っています。

また、スタートアップ推進室へ派遣した出向者を通じて、自身が手掛けてきた研究を事業化したいと話す先生たちとの接点も増えてきました。価値のある研究をビジネスに落とし込んで世の中に出すことは非常に社会的意義が大きいものの、まだまだクリアすべき壁が多いのも事実です。大学院生や先生を対象とした「GAP ファンドプログラム」など、研究テーマの事業化に向けたプログラムへの支援をはじめ、今後もさまざまな角度からサポートをしていきたいと思っています。

The Bank of Nagoya, Ltd.
KEISUKE
HAYASHI

株式会社名古屋銀行
法人営業部
法人コンサルティンググループ 企画役

林 敬祐 氏

1974 年、愛知県生まれ。97 年に名古屋大学経済学部卒業後、名古屋銀行に入行。国内複数の支店で法人営業の経験を積み、中国の上海と江蘇省に赴任。現地の拠点立ち上げに携わる。日本に帰国後、名古屋市内の支店で副支店長を務めたのち現職。



01

KAICHI
MURAKAMI

GeCS, Inc.



02

KOHEI
NISHIDA

TOWING Co., Ltd.



03

KANTA
TORITA

PROJECT M

STARTUP INTERVIEWS

研究を活かし、起業という形に昇華させた3人の起業家たち。
研究分野も世代も異なる3人に、起業に至った経緯、
今後の展望について語っていただいた。

Writer: 石原由加里 Photographer: 山本章貴

不安が多い子育て世代へ。適切な医療情報の提供で、よりよい診察につなげる。

ジークス株式会社 代表取締役 CEO 村上 嘉一 氏

医療に関わる人々の「実際の声」にとことん耳を傾けて完成した、子育て医療アプリ「あんよ」。情報にあふれた世の中で、正しい情報を選び取り、安心して医療機関にかかってほしい。そんな思いから誕生した「あんよ」は子育て世代に口コミで広がり、リリースから2年足らずで広告宣伝費なしで1万人以上に利用されている。

01

GeCS, Inc.
KAICHI MURAKAMI

—「あんよ」のサービス内容を教えてください。

村上：「あんよ」は小さな子どもを持つ保護者を対象としたアプリサービスで、すべてのコンテンツを現役の小児科医が監修している点が特長です。医療現場でよく聞かれる質問をもとにしたQ&Aを無料で閲覧できるほか、小児科を受診する際に役立つ相談メモ機能や、子どもの成長記録や日常の変化、ワクチンのスケジュールを記録できるカレンダー機能が付いています。母子手帳の代わりに使っているユーザーさんも多いですね。

チャット形式で現役の小児科医に相談できる機能も付いていますが、「あんよ」の目的はあくまでも「診察前のワンクッション」としての役割を果たすこと。医師と保護者の心理的な距離を縮めることを目指しています。過去には、「あんよ」がきっかけで診療につながり、珍しい疾患の早期発見につながったこともありました。

—村上さんはもともと、医療を支えるサービスをつくりたいとの目標を持って名古屋大学へ進学されたと聞きました。

村上：医療の世界に興味を持ったのは、幼い頃に、難病と戦う知人の姿を目の当たりにしたことがきっかけです。医学部への進学も視野に入れましたが現実的に難しく……ならばITを活用して医療現場に役立つものをつくりたいと考え直し、情報学部に進みました。入学当初から「すぐにでも起業したい」と公言していたおかげで名古屋大学発のベンチャー企業に声をかけていただき、インターンとして勤務。その後、ジークスを立ち上げました。

とはいえ、当初は資金も足りませんでしたし、医療業界とのつながりもありませんでした。そこでまずは、必要な人脈を広げながらオリジナルプロダクト開発に向けた地盤を固

め、当面はシステムの受託開発で運転資金の確保を目標とすることに。幸いなことにいろんな企業とお取引をさせていただき、創業から1年後にはオリジナルプロダクトの開発に切り替えることができました。

とはいえ、すぐに「あんよ」の開発がスタートしたわけではありません。漠然と、プライマリケア（総合診療）に役立つサービスを目指したいと考えてはいましたが、医療従事者向けのサービスなのか、それとも患者向けのサービスにするのかすら固まってはいませんでした。サービスの方向性を決めるにあたって、1番時間を割いたのは当事者へのヒアリングです。医師、医療従事者、患者さんなど医療に関わるさまざまな立場の方に意見をうかがう機会をいただくなかで、「患者さんの課題解決に振り切ったサービスをつくろう」「子どもを持つ親を対象にしたサービスをつくろう」と、開発の方向性を固めていきました。

—対象を小児に絞った理由は。

村上：現代はとにかく、情報がありすぎる時代です。特に医療に関する情報はエビデンスに欠ける内容も多く、なかでも、子育て世代の不安を煽るような情報発信が多いという現実があります。子育てに追われる日々のなかで冷静な判断に役立ててもらうため、また、コロナ禍によって周囲との交流が減っているという当時の状況もあり、まずは対象者を子どもを持つ保護者に絞って「適切に情報を

提供する」プラットフォームを立ち上げようと考えました。

2021年2月にパイロット版アプリが完成し、産婦人科・小児科クリニックにて実証実験を実施しました。実証実験では1000人以上の保護者に使っていただき、ユーザーアンケートやヒアリングをもとにブラッシュアップをおこない、9月に本番リリースを発表。現在も改善を続けています。

—今後の目標を教えてください。

村上：まずはユーザー数をさらに増やすことが目標です。これまでも、保護者同士の口コミやドクター・クリニックからの紹介のみで順調に増えてはいるのですが、今後はウェブ広告などを使って認知度を高めていきたいと思っています。並行して、「あんよ」内に追加するオンライン診療をリリースすべく、準備を進めています。

「適切な医療情報の提供」は、小児に限らずあらゆる世代に求められているものだと思います。将来的には、「あんよ」を起点に、成人患者を対象としたサービスへも発展できればと考えています。

個人的な目標としては、会社が落ち着いたら医学部進学にチャレンジしたいです。今の仕事に携わってからますます、「リアルな医療現場を自分の目で見たい」との気持ちが大きくなりました。少し先になってしまうかもしれませんが、ぜひ実現したいですね。

ジークス株式会社代表取締役 CEO 村上 嘉一 氏

1999年生まれ、愛知県出身。名古屋大学情報学部2年時の2019年、名古屋大学、名古屋工業大学の同級生とともに合同会社ジークスを創業。AIの研究開発、受託開発をおこないながら、2020年から医療領域の事業を企画。医療機関と共同研究を進め、2021年から小児科医と共同で小児医療の情報アプリ「あんよ」を開発。



世界初のアグリテックで、「宇宙で野菜を育てる未来」を実現する。

株式会社 TOWING 代表取締役 CEO 西田 宏平氏

「TOWING」が手掛ける人工土壌「高機能ソイル」を使えば、持続可能な農法として国が推進する「循環型農業」の効率を圧倒的に高めることができるという。その展望は地球のみに留まらず、現在、月面基地での農業実現に向け準備を進めている。2022年度「STI for SDGs」アワード 文部科学大臣賞受賞。

02

TOWING Co., Ltd.
KOHEI NISHIDA



—「TOWING」の事業内容について教えてください。

西田： 籾殻などの植物を焼いて炭化した材料に微生物を加えた人工土壌「高機能ソイル」を軸とした事業を展開しています。

循環型農業は手がかかるイメージがありますが、高機能ソイルは「短期間で良質な土づくりをおこなえる」「再現性が高い」「連作障害が起こりづらい」といったメリットがあります。「TOWING」では、高機能ソイルの製造・販売、栽培システムのコンサルティング、高機能ソイルで育てた苗や作物の生産・販売をおこなっています。

—それぞれのメリットについて詳しくうかがってもいいでしょうか。

西田： 循環型農業を始める際には、作物を植え付ける数年前から土づくりをおこないますが、高機能ソイルを導入すれば1ヶ月程度で作物を育てられる状態となります。また、土づくりには多くの肥料が必要で、使用量やタイミングは農家の経験と勘に頼るケースが多いためバラツキが大きく、いい土になるかどうかは運頼りといった面があるのも否めません。私たちが開発した高機能ソイルの材料はとてもシンプルで、なおかつ手順が確立されているため高い再現性を誇ります。

さらに、培養土の場合は病原菌の発生を抑えるために休耕の時期を設けることが一般

的ですが、高機能ソイルでは狙った微生物を活性化させ、病原菌の増殖を抑えられるため、連作も可能になります。

—海外展開も視野に入れているとか。

西田： 世界人口は増え続けており、2021年時点で78億人、2050年には98億人になると予想されています。日本にいと忘れてしまっていますが、世界に目を向けてみると、現在の技術で農業に適している場所はとても限定的です。人口増加を背景に「収穫できる作物を増やす」ことは地球課題であるため、現在、世界各国で農業に関する技術開発が進められています。高機能ソイルを利用すれば、貧弱な土地でも初期費用を抑えながら有機農業を始めることが可能になりますし、農業に携わる方の負担を大きく軽減できます。ちなみに、日本では高機能ソイルの材料に籾殻の炭を使用していますが、現地の植物や汚泥など、それぞれの地域に適した代替品を使うことで、海外での製造・販売ビジネスにもつながられたらと思っています。

また、高機能ソイルは炭素を地中に固定するため、CO₂排出量の軽減にも大きな効果を発揮します。「TOWING」ではカーボクレジット販売も手掛けており、大規模農業が主要なアメリカやブラジルと相性がいいのではと考えています。

—事業設立のきっかけは。

西田： 大学時代に高機能ソイルのもととなる研究に出会い、「これは今後世界で必要とされる技術なのでは」と感じたことが最初のきっかけです。その後、高機能ソイルを実用化すべく開発に着手し、卒業後と同時に起業する可能性も探ったのですが時期尚早だと感じ、エンジニアとして自動車部品メーカーに勤めながら研究を継続。それによって社内外で応援してくれる人とのつながりがたくさん生まれ、最終的には会社に背中を押される形で起業することができました。元勤務先を通じて副業やプロボノで参画してくれているメンバーもおり、ありがたい限りです。

—今後の展望を教えてください。

西田： 日本をはじめ、世界の循環型農業の発展に尽力すること。並行して、宇宙農業の実現も目指しています。「TOWING」はJAXAの宇宙イノベーションパートナーシップの「SPACE FOODSPHERE」に参画しており、月面基地で可能な農業プロダクトの実現に向けさまざま準備を進めているところです。現在、「2040年までに1000人が月面に居住する」との計画が進んでいますが、人がそこで生活するためには宇宙農業の取り組みが不可欠です。

月に農業用のハウスを建てて植物を育てられる環境を整えたとしても、いちいち土壌を地球から運んではコストがかかりすぎてしまいます。高機能ソイルの技術を使えば、月の土を農業に適した土に変えることができます。また、人が排出したCO₂を植物の光合成でO₂に変換する循環型設備も構想中です。まだまだ解決すべき課題はたくさんありますが、高機能ソイルによる循環型農業の宇宙進出を、必ず実現したいと思っています。



株式会社 TOWING 代表取締役 CEO 西田 宏平氏

1993年生まれ。滋賀県信楽町出身。名古屋大学大学院環境学研究科修了。大手自動車部品メーカーに就職したのち、2020年2月に株式会社TOWINGを弟と創業。在学時に学んだ人工土壌技術を活用した研究開発やコンサルティング、栽培システムの販売等の事業を手掛ける。内閣府主催宇宙ビジネスコンテスト S-Booster2019 ファイナリスト。

大学の授業をきっかけに起業の道へ。 プロダクト立ち上げから得た学びとは。

株式会社プロジェクトM 代表取締役 兼 mogmap 開発担当 鳥田 莞太氏

以前からの需要の高まりに加えて、コロナ禍を機にますます目にする機会が増えたキッチンカー（フードトラック）。キッチンカーばかりを集めたイベントが各地で開催されるなど、その人気はさらに高まっている。偶然の出会いも楽しいが、気に入ったキッチンカーに足を運びたい。そうした思いから生まれたのが「mogmap」だ。

03

Project M
KANTA TORITA

— 「mogmap」のサービス内容を教えてください。

鳥田：キッチンカーの出店場所がわかるウェブサービスです。出店情報と地図が連動しているため、お気に入りのキッチンカーがいつ、どこに出店するのかをひと目で確認できます。また、日付や地図上からキッチンカーを検索することも可能です。

— 「mogmap」はどのようにして生まれたのでしょうか。

鳥田：入学後、三重大学にはアントレプレナー教育を取り入れている授業がいくつかあることを知り、「起業マインドの醸成」をテーマに掲げる「日本理解特殊講義」を受講しました。授業の最終回でビジネスプランを発表するコンペがあったのですが、「mogmap」はそれに向けて用意した構想がもとになっています。発案のきっかけは、以前とあるイベントでお気に入りのキッチンカーに出会ったこと。「ほかのキッチンカーはどんなものがあるんだろう」と思ったものの、インターネットで調べてみても、どんな店がいつどこに出店しているのかがわからなかったんです。そうした経験から、いろんなキッチンカーの出店情報がわかるプラットフォームがあったらいいなと思い「mogmap」の元となるアイデアが生まれました。

当初は個人のチャレンジとしてつくろうと思っていたのですが、審査員長を務めていた株式会社カーネルコンセプト代表の柿崎さんに出資していただけることになり、プロジェクト規模を拡大して実用化を目指すことに。そこから急ピッチで準備を進め、なんとか3ヶ月後にはプレリリースにこぎつけることができました。

— 掲載店舗の募集はどのように？

鳥田：初めての掲載店舗は、「mogmap」をつくるきっかけになったハンバーガー屋さんです。どこに出店しているかをどうにか調べて、お店へ直接掲載のお願いに行きました。2店舗以降は、キッチンカーが出ているイベントに足を運んで交渉を重ねた店舗が多いです。最近では、SNSを通じた営業もおこなっています。現在の掲載店舗は三重県が中心ですが、だんだんと県外の店舗も増えてきました。

— 「mogmap」のビジネスモデルは？

鳥田：掲載店舗に利用料を支払っていただくビジネスモデルです。今は無料で利用いただいているのでマネタイズには至っていませんが、より使いやすくアップデートを重ね、2023年1月より有料化を予定しています。横展開がしやすいビジネスなので、まずは三重県でしっかり足がかりをつくり、ゆくゆくは東海エリアをはじめ全国に広げていきたいです。

— プロジェクトのスタートから現在を振り返ってみていかがですか。

鳥田：起業すること自体が自分にとっては予想外の出来事だったのですが、実際に経験してみようと思うのは、「起業は成長へのいちばんの近道」だということ。例えば僕の場合、以前からプログラミングを勉強していたものの

成長している実感を得られずにいたのですが、「mogmap」の開発に取り組んだ数カ月で技術力が格段に向上しました。

また、仕事を通じて仲良くなった仲間も財産です。情報教育専攻の同級生のほか、高校時代の後輩やサークルの先輩など、現在は学内外のいろんな人に「mogmap」を支えてもらっています。ビジネスはすべて実践の場。みんなから、「mogmap」の活動は勉強になるしおもしろいと言ってもらえると、このプロジェクトを立ち上げてよかったなと思います。

— 鳥田さんの今後のビジョンを教えてください。

鳥田：プロジェクトそのものには関わっていきたくはありますが、僕がリーダーであり続ける必要はないと考えています。学内ベンチャーは、よくも悪くも自由度の高さが魅力。だからこそ、どんな学生もチャレンジできる場であってほしいし、新しい価値が生まれるためにも新陳代謝が必要だと思います。

僕は、社会人を経験したのちに三重大学に進みました。実を言うと、当初は「卒業後は教育の場に関わりたくい」との理由で進学したのですが、起業を経験したことで、思い描く未来がまったく違うものになりました。卒業まではまだ時間があるので、「mogmap」の成長を目指すと同時に、今後自分がやりたいことをもっと深く見つけたいと思っています。

株式会社プロジェクトM
代表取締役 兼 mogmap 開発担当
鳥田 莞太氏

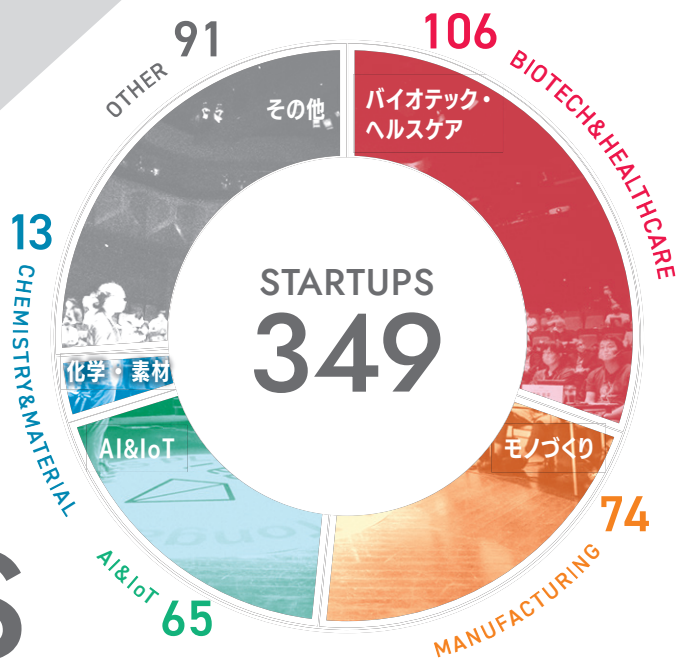
1995年三重県出身。高校卒業後、自動車メーカーに就職。会社の代表として技能五輪全国大会に2度出場したのち、指導者として後輩の育成にも携わる。2019年三重大学教育学部 情報教育専攻に入学。2022年3月よりmogmapプロジェクトをスタート。



とっきんとっきんな

大学発スタートアップに出会おう！

KNOCK-KNOCK STARTUPS



大学発スタートアップは、革新的な技術やビジネスモデルを基に、世界に向けた新しい価値の提供にチャレンジしている。それぞれの技術やビジネスモデルの未来への貢献を想像すると、上に示した数字以上の価値が見えてくる。また、社会的な信用の一つの指標として、大学発ベンチャー称号授与制度を設けている大学もある。

ぜひ、東海地区発の「とっきんとっきんな」な大学発スタートアップの扉をノックし、未来に繋がるビジネスを体感してほしい！

BIOTECH&HEALTHCARE

バイオテック・ヘルスケア



株式会社J-ARM

再生医療研究用の培養トレーニング、試薬類販売、機械類販売

名古屋大学



株式会社
ヘルステックシステムズ

郵送検査事業、バイオマーカー・検体検査技術の研究開発、機能性食品の研究開発

名古屋大学



株式会社シムス

再生医療、ロボット医療、AI医療の製品・サービス開発

名古屋大学



高齢社会街づくり研究所
株式会社

超高齢社会に対応する街づくりの実現に向けた企画コンサルタント事業

名古屋大学



株式会社PREVENT

生活習慣病既往者向けのIT技術を介した健康づくり・重傷化予防事業

名古屋大学



株式会社iCorNet研究所

重症心不全患者に対するテイルーメイド方式心臓サポートネット治療の事業化

名古屋大学



合同会社BeCellBar

注射に代わる革新的投薬技術の開発

名古屋大学



iBody株式会社

研究・検査・診断向けまたは医薬向けの微量血液からのモノクローナル抗体の探索

名古屋大学



NU-Medライフケア
システムズ株式会社

医療、福祉、健康を支えるソフト・ハードウェアの研究開発・提供

名古屋大学



LaView株式会社

家庭で「血管を診る」ことを実現

名古屋大学



Craif株式会社

尿検査による「痛みのない高精度ながん早期診断」の実現

名古屋大学



株式会社Craftide

タンパク質、ペプチドの化学合成による創薬

名古屋大学



メドリッジ株式会社

メディカル業界向けデバイス、プラットフォームの開発・提供

名古屋大学



株式会社
Meis Technology

間葉系幹細胞破砕液を用いた人・動物向け応用製品の開発・販売

名古屋大学



レアバリエント株式会社

疾患ゲノムの解析によるスクリーニングプラットフォームの構築にむけた環境整備と関連技術の開発

名古屋大学



クアドリティクス株式会社

リアルタイム心拍変動（HRV）解析技術によるヘルスケアサービス

名古屋大学



Dアミノ酸ラボ株式会社

D-アミノ酸、D-アミノ酸関連酵素並びにD-アミノ酸関連微生物の研究、製造及び販売

名古屋大学

一般社団法人プラントオープンイノベーション推進機構

作物ゲノム育種などによって新たに創出された新系統について、その社会普及を目的とした種子の販売等

名古屋大学

株式会社オンコイムンセラテック

腫瘍溶解性ウイルスを用いた癌治療研究開発等

名古屋大学



株式会社U's science

マンノース（糖類）の新規作用を活用した商品の開発、生産

名古屋大学

MILAI株式会社

食事療法アプリの開発、管理およびライセンス

名古屋大学

Crafton Biotechnology株式会社

有効で安全な mRNA 医薬品の開発、製造、販売、使用許諾

名古屋大学



PLANT DATA株式会社

植物生体情報の計測と解析、そして活用に関するサービスを提供するプラットフォーム

豊橋技術科学大学



株式会社豊橋バイオマスソリューションズ

メタン発酵—バイオガス発電などのバイオマス利活用事業におけるコンサルティング業務

豊橋技術科学大学



株式会社e-NA Biotec

核酸医薬等の新規医薬品の分子設計・合成に係るコンサルタント業など

岐阜大学



株式会社GF・Mille

医薬品、医療用及び医療外試薬類等の製造、販売及び輸出入事業

岐阜大学



株式会社しずい細胞研究所

ブロックチェーン技術を活用した細胞トレーサビリティの提供など

岐阜大学



ユナイテッド・イムニティ株式会社

がん免疫療法を中心とする医薬品の研究・開発・製造・販売

三重大大学



MZT株式会社

ゼブラフィッシュによる医薬品開発支援事業

三重大大学



バイオコモ株式会社

バイオ医薬品及びバイオ製品の開発

三重大大学



うれし野アグリ株式会社

房どりミニトマトの生産および販売

三重大大学



株式会社医用工学研究所

医療用データウェアハウス（病院の経営支援、診療支援、研究支援、業務効率の改善）の立案・構築・導入

三重大大学



株式会社機能食品研究所

食品、化粧品等の臨床試験の受託

三重大大学



有限会社細胞外基質研究所

エラスチン等の研究用試薬の販売

三重大大学



株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所

プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬開発

三重大大学



ティーセルヌーヴォー株式会社

CAR-T 細胞療法によるがん治療のための医薬品の研究・開発・製造・販売

三重大大学



オーガノサプリ株式会社

食物から抽出した物質によるサプリメントの開発、販売

三重大大学



株式会社OVUS

ゲノム、遺伝子、染色体に関する検査、解析受託

藤田医科大学



MabGenesis株式会社

医薬品領域（ヒト、動物）における抗体作製事業

藤田医科大学



株式会社D&P Labo.

機能性中分子ペプチドを中心とした創薬・医薬品開発

藤田医科大学



ジェノニクス株式会社

疾病リスク判定や治療薬選択の指標の提供等のサービス

藤田医科大学



株式会社 蛋白科学研究所

標的タンパク質の活性を阻害するペプチドの受託設計

名古屋市立大学



有限会社胎児生命科学センター

遺伝性疾患の出生前診断

名古屋市立大学



株式会社チャネロサーチテクノロジー

創薬研究及びイオンチャンネル創薬ツール販売と受託研究

名古屋市立大学



株式会社ハートビートサイエンスラボ

生体信号の計測、処理、解析事業

名古屋市立大学



株式会社浜松バイオチェスト

ユーグレナの大形化、自動化

静岡大学



一般社団法人みんなの認知症情報学会

IT（ソフト）、ヘルスケア

静岡大学



株式会社EU-BS（ユービス）

バイオサイエンス関連の受託研究・製品開発

静岡大学

株式会社ウオーキングDAY

予防介護商品開発業

静岡大学



株式会社プレッパーズ

質量分析に関する受託事業および質量分析関連装置や技術の研究・開発

浜松医科大学



株式会社SNAPSHOT

人事・経営領域のソフトウェア・余暇を楽しむためのサービス開発販売

名古屋大学



有限会社コビグラフ

ユビキタス関連システムの開発および販売

名古屋大学



株式会社
サイエンスインパクト

放射線計測（宇宙線ラジオグラフィ）、
Web メディア運営

名古屋大学



株式会社オプティマインド

AIを活用したラストワンマイルのルート最適
化クラウドサービスの開発・提供、最適化コ
ンサルティング

名古屋大学



株式会社マップフォー

自動運転のための3次元地図の開発、走行
データ計測、車両構築、システム開発

名古屋大学



株式会社
トライエツティング

生産業向けのAI（人工知能）ソリューション
の企画・開発・運営・販売

名古屋大学



株式会社ブレインフォー

自動運転用 AI 作成サービス受託開発、自
動運転用データ収集車両の構築

名古屋大学



株式会社MEBAIS

AI エキスパート医療事務「MEBAIS」の開
発および提供

名古屋大学



株式会社TARVO

音声加工・変換の開発受託、音声加工プラッ
トフォーム公開

名古屋大学



株式会社Sonologo

音楽・スポーツ・アートのイベント予約・参
加情報をサブスクリプションにて提供するプ
ラットフォーム運営

名古屋大学



株式会社Acompany

ブロックチェーン技術関連のプログラム開発・
研究開発・コンサルティング

名古屋大学



OnClouds株式会社

自律移動ソフトウェア実証実験、カメラ姿勢
推定地図生成

名古屋大学



アイクリスタル株式会社

プロセスインフォマティクス事業、AI 教育事
業

名古屋大学



株式会社Hashup

大学生向け授業評価サイト「楽単らくだ」の
運営と、機械学習基盤の受託開発やコンサル
ティング

名古屋大学



ジークス株式会社

AI の研究開発・業務委託、ソフトウェアの
販売

名古屋大学



株式会社フィットメトリクス

植物科学・農学におけるデータ取得・解析
技術の受託開発やコンサルティング

名古屋大学



株式会社
CYPE Technology

実験機器、制御ソフトウェア、データ解析技
術に関する機器販売、ソフトウェア販売・ラ
イセンシング等

名古屋大学



ZATITECH合同会社

自動運転車両制御システムの開発、コンサル
ティング、ソリューション提供等

名古屋大学



AquaAge株式会社

肌画像 AI 分析による肌に合うスキンケア商
品を提案、自動運転シミュレーション環境の
構築

名古屋大学



株式会社エクセイド

自動運転システムの研究・開発及びモビリ
ティサービスの提供

名古屋大学

株式会社WITH

協調型物搬自動運転システムの販売と
MaaS 企画

名古屋大学

FAINZY TECHNOLOGIES
株式会社

配膳、ラストマイル配達及び工場ラインを自
動化するロボットの開発、製造、販売及びレ
ンタル

名古屋大学



株式会社
ゼノバイオティク

化学者向けの化合物毒性予測ソフトウェア

岐阜大学



サグリ株式会社

衛星データ解析および機械学習による事業
創出など

岐阜大学



N研究所株式会社

DERMS-3D シミュレータ等調査・評価・実
験評価受託など

岐阜大学



株式会社データスピリット

コンピュータを応用した設備診断等のシステ
ムの開発、販売

三重大学



株式会社Anotherworker

コンピュータ使用業務に対する効率化・自
動化プログラムの作成・提供

三重大学



株式会社プロジェクトM

キッチンカー検索サイト「mogmap」の運営、
キッチンカーのプロデュース、学内友人づくり
アプリ「Mieet」の開発・販売

三重大学



センスコム合同会社

振動解析サービスの提供、振動解析技術コ
ンサルティング等

愛知県立大学

株式会社AI技研

人口知能 (AI) とデジタル計測・信号処理
技術の技術コンサルティングと人材育成

静岡大学



パロアルト株式会社

企業の人材育成、DX 推進・サイバーセキュ
リティ対策の支援

静岡大学

アクロ・スペース合同会社

情報処理・情報提供サービス、スマートフォ
ンアプリの開発

静岡大学



スリーカウント株式会社

インターネット広告運用代行、HP制作、各
種DTP制作、採用コンサルティング

静岡大学

株式会社カルテット
コミュニケーションズインターネット広告運用代行、運用支援ツール
の自社開発

静岡大学

アグリエア株式会社

農業AIに関する研究開発及びコンサルティ
ング業務

静岡大学



株式会社プログメイト

小中高生向けプログラミングスクールの展開

静岡大学



株式会社エクサイザーズ

AIを活用した介護ビジネス等

静岡大学

MANUFACTURING

モノづくり



株式会社BioCMOS

半導体集積回路および回路基板の設計・製
造、ファームウェアの開発

名古屋大学

株式会社
Photo electron Soul電子ビーム発生装置及び素子の研究、開発、
製造及び販売

名古屋大学



NU-Rei株式会社

プラズマ技術を用いたオンリーワン製品の開
発・製造・販売

名古屋大学



株式会社U-MAP

新素材 "ThermalNite" の開発・事業化

名古屋大学



株式会社日本中性子光学

光学素子、中性子計測用装置、超電導加
速器用検査装置、放射線計測用装置の開
発・販売

名古屋大学



株式会社UJ-Crystal

シリコンカーバイドウェハ (SiC ウェハ) の製
造・品質管理および販売

名古屋大学



合同会社青山大岳

VR 技術を応用した映像再投影型安全保護
めがねの開発

名古屋大学



GRC株式会社

放射線機器に関する製品開発や薬剤開発な
ど

岐阜大学



株式会社ヒューロピント

人支援ロボットの開発・製造・販売

岐阜大学

株式会社
フォトニック・エッジ

電界を可視化する技術の社会実装など

岐阜大学

株式会社
ファイナルマーケット

透水性舗装の設計、施工

三重大学

合同会社アンカーアセット
マネジメント研究会アンカーに関する研究開発、調査、コンサル
ティング

三重大学



株式会社プリンシプル

産業機器、医療機器の開発、設計、製造

三重大学

S-Bridges株式会社

茶葉・茶殻を含む食品からのタンパク質の
抽出およびその製造プロセスの確立

静岡大学

MIR株式会社

ロボティクス技術のコンサルティング

静岡大学

ライドマティクステクノロジーズ
株式会社RTK - GNSS (高精度測位技術) を活用
したアプリケーション開発

静岡大学



株式会社アーミス

パワーエレクトロニクス・モーターに関する技
術教育、技術支援、製品開発

静岡大学



株式会社パパラボ

高忠実度色再現技術による色・質感測定シ
ステムの開発、製造、販売

静岡大学

株式会社三浦
CAD・CAM研究所CAD/CAM/CAE に関するコンサルテーショ
ンソフトウェア開発

静岡大学

株式会社
ANSeeN (アンシーン)

CdTe 半導体検出器の設計開発・販売

静岡大学



浜松カーボニクス株式会社

カーボンナノチューブの開発・製造

静岡大学

株式会社プラズマ
アプリケーションズ

光源応用製品製造

静岡大学

株式会社Sound Concierge

建設の音響設計・研究開発・スピーチプ
ライバシーテクノロジー応用の機械開発

静岡大学

株式会社
ブルックマンテクノロジー

CMOSイメージセンサの開発

静岡大学

株式会社はまつ
メディカルソリューションズ

医療機器の開発、申請、製造及び販売、

浜松医科大学

CHEMISTRY&MATERIAL

化学・素材



超臨界技術センター
株式会社

超臨界二酸化炭素を用いた抽出技術の各種分野への応用事業

名古屋大学



SyncMOF株式会社

ガスの吸着・分離材の製造、性能評価

名古屋大学



株式会社fff fortississimo

炭素繊維材料及び繊維強化複合材料の設計、開発、製造及び販売

名古屋大学

株式会社ミサリオ

ミクロンレベルの局所領域や微小部材電子デバイスの内部部材などの熱膨張制御

名古屋大学



株式会社アロマビットシリ
コンセンサテクノロジー

超小型で高ノイズ解像度を実現するシリコンCMOS型次世代ノイズセンサーを事業化する会社

豊橋技術科学大学



先進技術研究所

CFRP 複合材料の研究開発の実施、支援など

岐阜大学



FiberCraze株式会社

防虫・保湿・抗ウイルス等機能的繊維及び多孔質フィルムの研究開発など

岐阜大学

OTHER

その他



一般社団法人
GEOASIA研究会

地盤工学に関する調査・設計及び技術開発・研究開発支援

名古屋大学



株式会社Harmony For

外国人留学生に特化した就職サポート・企業の採用支援事業、外国人留学生向けライフサービス事業

名古屋大学

Lawin株式会社

食品の企画及びコンサルティング

名古屋大学



株式会社
フレンドマイクロブ

微生物を利用した廃棄物・排水の処理

名古屋大学



グランドグリーン株式会社

異科接木技術を用いた農作物新品種の開発および接木自動化のための装置開発

名古屋大学



ZAZA株式会社

料理を学びたい訪日旅行者と、料理を教えない日本人ホストをオンラインで結ぶ「食」のシェアリングサービス

名古屋大学



Link T&B 株式会社

パワーエレクトロニクス機器の研究・開発・販売・技術コンサルティング

名古屋大学



一般社団法人モビリティと
人のデータラボ

モビリティに関わる人間特性のデータベースの維持・管理・拡充及びデータを利用した研究開発の促進

名古屋大学



株式会社TOWING

農業関連商品の企画、開発、調査、立案及び販売並びにそれらに関するコンサルティング

名古屋大学



株式会社ポットスチル

人と人工物間のインタラクションに関する技術開発と製品への応用

名古屋大学



一般社団法人里モビリティ

里モビのリース、コミュニティ活動の運営企画

名古屋大学



株式会社OnePile

長期インターン求人サイト「JobPacker」の運営

名古屋大学

一般社団法人ライフアンドモビリティ

移動問題を解決するサービスの提供とコンサルティング

名古屋大学



株式会社パワーウェブ

ワイヤレス電力伝送技術をシードとした未来の基幹インフラを目指す会社

豊橋技術科学大学



合同会社OptTech

AIや画像処理といった既存の工学技術に光学技術を組み合わせた技術・商品を提供する

豊橋技術科学大学



株式会社
カケミチプロジェクト

訪問看護、インターネットを介した研修事業など

岐阜大学

株式会社artkake

若手アーティストが制作した絵画やデザイン画販売など

岐阜大学



株式会社アーリー・バード・
エージェント

人材紹介サービス

三重大学



ピーアンドディーパート
ナーズ株式会社

日本製品の中国輸入許認可サポート

三重大学



株式会社キャンパス

抗癌剤の研究開発

名古屋市立大学



株式会社
名古屋臨床薬理研究所

医工連携、産学連携のコーディネート事業

名古屋市立大学



合同会社
建築構造技術研究所

建築構造に関わる技術の開発・コンサルタン
ト

名古屋市立大学



株式会社カチノデ

スタートアップ支援サービス（プログラムの企
画／コミュニティの運営／デザイン制作）

愛知県立芸術大学

N-STEP

政治分野に対する SNS 支援、ネット選挙の
構築

静岡大学

静岡アグリパートナーズ合同会社

農産物の生産・加工・販売、農業・農村
に関する教育の受委託、地域活性化に関す
る相談支援業務

静岡大学



STARS Space Service
株式会社

宇宙ゴミの捕獲、宇宙機を利用したサービ
スの提供・コンサルティング

静岡大学



N&Vブリッジ株式会社

日本企業のベトナム進出サポート、市場調
査、マッチング等総合コンサルティング

静岡大学



一般社団法人
プロフェッショナルを
すべての学校に

ICTを活用した遠隔授業で地方の小中学校
と都心の企業を繋ぐキャリア教育事業

静岡大学



Exclothes株式会社

除菌・消臭剤の販売

静岡大学



株式会社
静岡アグリビジネス研究所

静大トマトの生産・販売

静岡大学



株式会社
スプレーアートEXIN

オーダーメイドのアートデザイン業務

静岡大学



株式会社ITSC/
静岡学術出版

出版・製本・開発・情報 関連事業

静岡大学



有限会社
静岡アカデミックリサーチ

小中高生学習指導業務

静岡大学

BACK ISSUES

とっきんとっきん

既刊バックナンバー

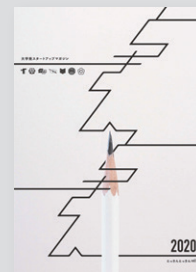
多岐にわたる分野で社会変革・新しい価値の創造を
すすめる東海地区の大学発スタートアップとその支援・
教育についてフィーチャーする「とっきんとっきん」。その
バックナンバーを紹介する。既刊は下記ウェブサイトより
参照できる。



<https://tongali.net/tokkin-tokkin/>

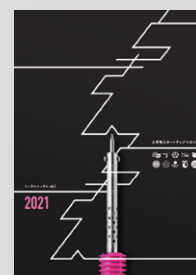
VOL.1 / 2020 FUTURE DESIGN

東海地区の大学発スタートアップが、そのイノ
ベーションによって作り出すこれからの社会変革
と新しい未来の姿を特集する。



VOL.2 / 2021 STARTUP ECOSYSTEM

東海地区で作られつつあるスタートアップを育
てるエコシステム（生態系）を、大学発スタート
アップを中心に図解し紹介する。



VOL.3 / 2022 STARTUP SUPPORT PROGRAM

愛知 - 名古屋スタートアップエコシステムコン
ソーシアムにおける、スタートアップ支援プログ
ラムの代表的なものをピックアップし紹介する。

